

世界自然遺産登録5周年
国立公園指定10周年記念

奄美・沖縄
子ども交流事業

子ども新聞

学び、深めた郷土愛

特別号



ピナイサーラの滝
ツアー



野生生物保護センターでの
環境学習



祖納集落 豊年祭へ参加



西表島小中学生との交流会



ナイトツアーで
夜の生き物観察



水牛車に乗り由布島へ

令和8年7月28日から31日までの4日間、奄美群島の中学生12名が西表島を訪れ、交流事業を実施しました。野生生物保護センターでの環境学習をはじめ、ピナイサーラの滝ツアーやナイトツアーなど、豊かな自然を体感するさまざまなエコツアーを体験。また、西表島の小中学生との交流会では、一緒に活動しながら交流を深めました。

奄美群島の中学生は、研修前に自分が住んでいる島と西表島の違いについて事前に学び、研修に臨みました。実際に西表島を訪れると、自然や文化の中に「違い」だけでなく、島同士の「共通点」もたくさん見つかりました。見て、聞いて、触れて、話して——。4日間の体験を通して、子どもたちは西表島の魅力を発見するとともに、自分たちが暮らす島の魅力も改めて見つめ直しました。

「西表島の自然の中で学んだこと」

知名町立知名中学校 1年 谷山 瑛音

① 心に残ったこと

「ピナイサーラの滝ツアー」が心に残っています。去年の夏休みに屋久島の猿川でシャワークライミングをしました。その時とても楽しかったので、ピナイサーラの滝に行くのはそれと似てるかもと思い楽しみにしていました。

まずカヌーに乗ります。滝まで行くのにカヌーで行くのはとてもドキドキの大冒険です。出来るだけ滝に近づいて、カヌーを降りて山の中を登って滝つぼまで歩きました。僕の以前住んでいた姫路市安富町にある、鹿ヶ壺とはまるで違いました。鹿ヶ壺は山のなかにあるので滝つぼは2メートルくらいあって、高いところから飛び込むことができます。

ピナイサーラの滝つぼは天然のプールで広々でした。みんなと遊べてすごく楽しかったです。帰りもカヌーに乗って帰りました。帰りは運転に慣れて自由に船が動きました。カヌーに乗るのもはじめてで、うまく動くようになって嬉しかったです。

③ 自分の成長につながったこと

研修前は、知らない人と話すことに少し緊張していました。自分から話しかけることにも迷いがありました。しかしながら、研修では必然的に、たくさんの体験の中でいろいろな人と交流しました。自分から声をかけることで、相手のことを知るきっかけが生まれると分かりました。西表島の自然や文化についても、実際に見たり聞いたりすることでも、新しい発見がありました。

研修後は、分からないことをそのままにせず、自分から聞いてみようと思うようになりました。人との交流にも、前より積極的になりました。これからは、興味を持ったことには自分から行動していきたいです。

② 学んだこと・気づいたこと

交流や体験を通して、島の自然と人々の暮らしのつながりに気づきました。西表島では、豊かな森や海が身近にあり、それらを大切にしながら暮らしていることが印象に残りました。自分の島にも海や自然があります。けれど、自然の広がりや森の深さには違いを感じました。

また、自然が観光だけのものではなく、地域の文化や昔からの暮らしと深く結びついていることも知りました。交流する中で、同じ島の暮らしでも、自然環境によって文化や生活の形が変わるのだと気づきました。自分の島についても、身近な自然や文化を当たり前と思わず、改めて見つめてみたいと思いました。

④ これから、自分にできること

研修を通して、自分の島にはたくさんの魅力があることを学びました。これからは、島の自然や文化、地域の人たちの良さを、周りの人に伝えていきたいです。また、地域の人との関わりを大切にし、あいさつや交流を積極的にしていきたいです。研修で学んだことを生かして、自分にできることから少しずつ行動していきたいです。



ピナイサーラの滝に行く前のワンショット📷
ドキドキ💓



初めてカヌーに乗りました🛶 最初はうまく漕げ
なかったけどだんだん上手くできました！



ピナイサーラの滝を見るために山を登ってます！
結構大変でしたが楽しかったです！